

目 次

第 1 講	旧石器文化・縄文文化・弥生文化	2
第 2 講	古墳文化とヤマト政権	10
第 3 講	律令国家の形成	18
第 4 講	平城京と平安京	26
第 5 講	摂関政治と国風文化	34
第 6 講	院政と武士の成長	42
第 7 講	平氏の台頭と鎌倉幕府の成立	50
第 8 講	鎌倉幕府の衰退と鎌倉文化	58
第 9 講	室町幕府の成立と衰退	66
第 10 講	中世の社会・経済と室町文化	74
第 11 講	戦国大名の興亡とヨーロッパ人の来航	82
第 12 講	信長・秀吉政権と桃山文化	90
第 13 講	江戸幕府の成立	98
第 14 講	鎖国政策と幕政の安定	106
第 15 講	産業の発達と元禄文化	114
一問一答①～⑮		122

[写真] 悠工房／青森県埋蔵文化財調査センター／石上神宮／宮内庁三の丸尚蔵館／国（文化庁）
 保管／佐賀県教育委員会／清浄光寺／神護寺／水産航空／隅田八幡神社／田原市／十日
 町市博物館／東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives／鳥取県埋蔵文化財セン
 ター／所有：文化庁 写真：埼玉県立さきたま史跡の博物館／三井文庫 蔵／明治大学
 博物館（敬称略）

第4講 >>> 平城京と平安京

基礎学習

● [] の中に適切な語句を入れて、要点を整理しよう。(解答は解答解説 P.7)

この講で学ぶ時の流れ

時代	奈良時代					平安時代											
文化	天 平 文 化					弘仁・貞観文化											
年次	七一〇	七二二	七二九	七四〇	七四一	七四三	七四三	七五二	七六四	七六九	七八四	七九二	七九四	七九七	八一〇	八二〇	
おもな事項	平城京遷都	三世一身法	長屋王の変	藤原広嗣の乱	国分寺建立の詔	大仏造立の詔	墾田永年私財法	大仏開眼供養	藤原仲麻呂	(惠美押勝)の乱	宇佐八幡神託事件	健児の制	平安京遷都	坂上田村麻呂が	征夷大将軍になる	平城太上天皇の変	『弘仁格式』編纂
天皇	元明	元正	聖武			孝謙	淳仁	称徳	光仁		桓武			平城	嵯峨		
中国								唐									
朝鮮																	

(1) 遣唐使

①唐との交通

- 618年、唐が建国された。都の長安は世界的な都市として国際文化が花ひらいた。
- 第1回遣唐使は、630年に [] が大使で渡航した。
- 一行は盛時には500名にも及び、4隻の船(よつのふね)で渡海した。
- 894年、 [] の建議で遣唐使は停止された。
- 留学生では [] や阿倍仲麻呂、学問僧では [] ・最澄・空海、渡来僧では唐招提寺を創建した [] などが、日本の文化の向上に貢献した。

②新羅との交通

- 8世紀には新羅を従属国として扱おうとして対立→ [] が新羅攻撃計画→実現せず。

③ [] との交通

- 唐・新羅との対抗関係から日本に使者を派遣し、友好関係をもった。

(2) 平城京と地方社会

①平城京の造営

- 710年、 [] 天皇は平城京に遷都した。
- 平城京は唐の都 [] にならい、碁盤目状に区画した [] をもつ都市である。

②平城京の構造

- 都は中央を南北に走る [] で左京・右京に分けられ、中央北部には平城宮があり、その中に内裏・大極殿・朝堂院・諸官庁(政治の中心)がおかれていた。
- 左京・右京には官営の [] が設けられ、地方から運ばれる産物や、官吏に給与として支給された布や糸などが交換され、市司がこれを監督した。

③貨幣の铸造

- 708年、 [] 国から銅が献上され、7世紀の富本銭に続いて [] を铸造した。

- 和同開珎は唐の開元通宝を模倣したものである。
- 和同開珎を入れて10世紀半ばまでに12種類の貨幣が鑄造されたが、これらを [] という。
- 政府は銭貨の流通を促すために711年に [] を発したものの、京・畿内以外では稲や布などの物品による交易が広く行われていた。

④中央と地方

- 都を中心に官道が整備され、約16キロごとに [] を設ける駅制がしかれた。

⑤支配地域の拡大

- 東北日本海側…淳足柵(647年)・磐舟柵(648年)を設置。齊明天皇の時代に [] が蝦夷地を遠征した(658~660年)。712年には出羽国をおき、733年には秋田城を築いた。
- 東北太平洋側…724年には [] を築いた。
- 九州地方…713年には大隅国を設置。720年には大伴旅人が [] を鎮圧した。

(3) 政界の動揺

天皇	政権担当者とおもな事項
元 正	①長屋王の政治 ○723年, [] を出す。
聖 武	②藤原四子の政治 ○藤原四子とは武智麻呂(南家), 房前(北家), 宇合(式家), 麻呂(京家)の4人。 ○光明子の立后問題で左大臣長屋王と対立→729年, [] の変。 ○藤原四子が疫病(天然痘)で死亡する。 ③橘 諸兄の政治 ○唐から帰国した僧の [] と学者の [] を登用した。 ○740年, これに反発した [] が大宰府で反乱。 ○743年, [] 発布…開墾した田地の永久私有を保障した。 ④聖武天皇の政治 ○政情不安が高まり, 社会不安(疫病・飢饉の流行)も重なって聖武天皇が遷都する。 ※740年恭仁京(山背国)→744年難波宮(摂津国)→744年紫香楽宮(近江国)→745年平城京 ○741年, [] …国ごとに僧寺・尼寺を建立, 金光明経の読経。 ○743年, [] …初め紫香楽宮に計画→のち平城京で東大寺大仏鑄造。 ○聖武は鎮護国家の思想にもとづき, 仏教の力を借りて政治や社会の不安を鎮めようとした。
孝 謙	⑤藤原仲麻呂の政治 ○752年, [] が行われる。※開眼導師=菩提僊那 ○757年, [] の変で仲麻呂打倒計画が発覚する。 ○757年, [] を施行する。
淳 仁	⑥惠美押勝の政治 ○仲麻呂は淳仁天皇から惠美押勝の名を賜り, 太政大臣にまでなる。 ○孝謙上皇の病をなおして台頭した道鏡を除こうとして失敗した = [] の乱。
称 徳	⑦道鏡の政治 ○孝謙上皇が重祚して称徳天皇となる。 ○道鏡は太政大臣禪師, さらに法王となる。 ○769年, 道鏡が皇位をねらう [] 事件がおこる。 → [] が阻止し, 翌年, 道鏡は下野国薬師寺別当に追放される。
光 仁	○藤原百川(式家)の活躍で光仁天皇が即位する。 ○780年, 蝦夷の豪族で陸奥国郡司の伊治皆麻呂が反乱。

(4) 土地政策と民衆

①農民の生活と抵抗

- 庸・調・雑徭など農民への負担大。 ※農民生活の描写→ [] の「貧窮問答歌」(『万葉集』)。
- [] ・逃亡や戸籍を偽る [] が増大した。
- 勝手に僧侶になる [] や貴族の従者である資人となって税負担から逃れる者もあった。

②土地政策

- 722年、口分田不足や税の増収をめざして百万町歩開墾計画をたて、723年に [] を施行した。
- 743年、 [] を発布して租税収入の拡大を図る一方、初期荘園(墾田地系荘園)の成立を促した。

(5) 天平文化

①時期… [] 天皇の時代を中心とする。

②特色…平城京を中心とする貴族文化で、 [] 文化の影響を受けた国際色豊かな文化である。

③記紀

- 『古事記』…712年完成(元明天皇)、天武天皇が稗田阿礼によみならわせた内容を、 [] が筆録。
- 『日本書紀』…720年完成(元正天皇)、 [] が中心となって編纂。漢文の編年体。
- 国史の編纂は平安時代に引き継がれ、『続日本紀』『日本後紀』『続日本後紀』『日本文徳天皇実録』『日本三代実録』と、合計六つの漢文正史が編纂された。これらを [] という。
- 『風土記』…713年、元明天皇の命によって編纂。常陸・出雲(完本)・播磨・豊後・肥前の五風土記が現存。

④漢詩と和歌

- 『 [] 』…751年、現存最古の漢詩集。
- [] は鑑真の伝記『唐大和上東征伝』を書き、 [] は私設図書館芸亭を設けた。
- 『 [] 』…長歌・短歌・旋頭歌など約4500首を集め、万葉仮名で表記した。

⑤教育機関

- 官生養成のため、中央に [] (式部省が管理)、地方に [] (国司が管理)がおかれた。大学は五位以上の貴族の子弟や東西史部の子が、国学は郡司の子弟が入学した。

⑥国家仏教

- 学派の形成…三論・成実・法相・俱舎・華嚴・律の []
- 南都七大寺…大安寺・薬師寺・元興寺・興福寺・法隆寺・東大寺・西大寺
- 聖武天皇…741年、国分寺建立の詔、743年、盧舎那大仏造立の詔
- [] …日本律宗の開祖。東大寺に初めて戒壇を設け、唐招提寺を建立した。

⑦社会事業

- [] …法相宗の僧。初め民衆への布教活動を行って弾圧をうけ、のち社会事業につくす。
- [] …悲田院・施薬院を設け、貧者や病人を救う。

⑧建築

- 東大寺法華堂(三月堂)、 [] 宝庫(校倉造)
- 唐招提寺金堂、唐招提寺講堂(平城宮の朝集殿を移建)、法隆寺伝法堂(貴族の邸宅)

⑨彫刻

- 乾漆像…東大寺法華堂不空罽索観音像、興福寺 [] 像(興福寺八部衆像の一つ)、唐招提寺鑑真像
- 塑像…東大寺法華堂日光・月光菩薩像、東大寺法華堂執金剛神像、東大寺戒壇院四天王像

⑩絵画

- 正倉院鳥毛立女屏風(樹下美人図)、薬師寺 [] 像、過去現在絵因果経(絵巻物の源流)

⑪工芸

- 正倉院宝物…『螺鈿紫檀五絃琵琶』・『銀薫炉』・『漆胡瓶』
- 百万塔 [] …世界最古の印刷物

(6) 平安朝廷の形成

	桓武天皇(781~806年)	嵯峨天皇(809~823年)
①造都	○784年 [] に遷都 →造長岡宮使 [] 暗殺事件 ○794年 [] に遷都	
②東北経営	○797年, [] が征夷大將軍となり, 胆沢地方の族長の阿弭流為を帰順させ, 802年, [] を築いて鎮守府を多賀城から移す。803年に北上川上流に志波城を築く。	○811年, 征夷將軍文室綿麻呂が蝦夷を平定。
③令外官	○797年ごろ, [] を設置して国司の不正を取り締まった。 ○征夷大將軍を設置する。	○810年, 機密文書の保管を扱う蔵人所を設置。 →長官 [] に [] を任命する。 ※北家台頭の契機 ○設置の契機は平城太上天皇の変(葉子の変)。 ○都の治安維持のため [] を設置。
④その他の改革	○792年, 辺境以外の軍団を廃止し, 郡司の子弟などの [] を採用した。 ○801年, 班田勸行を命じ, 12年1班に改正。 ○ [] を半減した。 ○805年, [] が「軍事と造作」の中止を主張(徳政論争<相論)。	○820年, 藤原冬嗣が『 [] 』を編纂。 ※格=律令の補足・修正, 式=施行細則 ○貞観・延喜とあわせて [] という。 ○のちに清原夏野らが養老令の官撰注釈書である『 [] 』を, 惟宗直本が私撰注釈書の『令集解』を編集した。

point

令外官

動揺してきた律令制をどう再建するか? 聖武天皇は国分寺建立や大仏造立など仏教の力を借りた。桓武・嵯峨天皇の再建のキーワードは令外官。令外官は令の規定にない官職のことで, 実情に応じた実際的な機関がつくられていた。令外官には, 勘解由使・蔵人・檢非違使の他に, 中納言・参議・内大臣・関白・押領使・追捕使などがある。

(7) 弘仁・貞観文化

- ①時期…8世紀末~9世紀末。嵯峨・清和天皇の時代を中心とする。
- ②漢文学
 - 勅撰漢詩文集…『 [] 』(814年), 『文華秀麗集』(818年), 『経国集』(827年)。
 - その他…『 [] 』(『類聚国史』『菅家文草』『菅家後集』), 空海(『性霊集』『文鏡秘府論』)
- ③学問…紀伝道(文章道)が重視された。
 - 大学別曹…和氣氏の弘文院, 藤原氏の [] , 橘氏の学館院, 在原氏・皇族の奨学院など。
 - 庶民教育…空海創設の学校 [] 。
- ④平安仏教
 - [] 宗… [] が開く。中心は比叡山 [] 。
 - ※後継者…円仁(=山門派), 円珍(=寺門派)。
 - [] 宗… [] が開く。中心は高山野 [] , 教王護国寺(東寺)。
- ⑤密教芸術・その他
 - 彫刻…薬師寺僧形八幡神像, 観心寺 [] 像, 元興寺薬師如来像(一木造・翻波式)。
 - 絵画… [] と教王護国寺の両界曼荼羅, 園城寺不動明王像(黄不動)。
 - 書道…嵯峨天皇・空海(『風信帖』)・橘逸勢らの能書家を [] という。

確 認 問 題

1 次の史料を読んで、後の設問に答えよ。

- A (養老七年四月)辛亥、太政官奏すらく、「頃者、百姓漸く多くして、田池窄狭なり。望み請ふらくは、天下に勧め課せて、田疇を開闢かしめん。其の新たに溝池を造り、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひて(①)に伝へしめん。若し旧き溝池を逐はば、其の(②)に給せん。」と。奏可す。
- B (天平十五年五月)乙丑、詔して曰く、「聞くならく、墾田は養老七年の(③)に依りて、限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地後た荒る、と。今より以後は、任に(④)と為し、(①)(②)を論ずること無く、咸悉くに(⑤)取る莫れ。
- C (天平十三年三月)乙巳、「……宜しく天下諸国として各敬みて七重塔一区を造り、并せて金光明最勝王經・妙法蓮華經各一部を写さしむべし。……」と。
- D (天平十五年)冬十月辛巳、詔して曰く、「……粵に天平十五年歳次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を發して、盧舎那仏の金銅像一軀を造り奉る。……夫れ天下の富を有つ者は朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。」
- E (天平神護元年三月)是によりて、天下の諸人競ひて墾田をなし、勢力の家は百姓を駆役し、貧窮の百姓は自存に暇なし。今より以後は一切禁断して加墾せしむることなかれ。但し寺は先來の定地開墾のついでには禁ずる限に在らず。また当土の百姓、一、二町はまた宜しくこれを許すべし。

1

- (1) _____ 年
- (2) _____
- ① _____
- ② _____
- (3) _____ 年
- (4) _____
- (5) _____
- ④ _____
- ⑤ _____
- (6) _____
- (7) _____
- (8) _____ 天皇
- (9) _____
- (10) _____
- (11) _____

- (1) Aの史料の「養老七年」とは西暦何年か。
- (2) 空欄(①)(②)にあてはまる語句は何か。
- (3) Bの史料の「天平十五年」とは西暦何年か。
- (4) 空欄(③)にあてはまる最も適切な語句を次のア～エから一つ選べ。
ア 律 イ 令 ウ 格 エ 式
- (5) 空欄(④)(⑤)にあてはまる語句は何か。Bの史料が示す法令名をふまえ、答えよ。
- (6) Cの史料が示す詔は何とよばれるものか。
- (7) Dの史料の「盧舎那仏」はどこかの寺院に安置されているか。寺院名を答えよ。
- (8) Dの史料の「朕」は天皇をさすが、その天皇名を答えよ。
- (9) A～Dの史料の出典は何か。
- (10) Eの史料が發布された時代として正しいものを、次のア～エから一つ選べ。
ア 孝謙天皇・藤原仲麻呂の中国化政策。 イ 光仁天皇の緊縮・改革政策。
ウ 称徳天皇・道鏡の仏教・寺院の優遇。 エ 天武天皇の集権国家体制化。
- (11) Eの史料の發布以降の状況として適当でないものを、次のア～エから一つ選べ。
ア 開墾・墾田の永年私有の承認。 イ 寺院による荘園開発の進展。
ウ 初期荘園の進展。 エ 荘園の寄進の増大。

2 次の史料A～Eを読んで、後の質問に答えよ。

A (養老元年五月)丙辰、詔して曰く、率土の百姓、四方に〔①〕して課役を規避し、遂に王臣に仕へて、或は資人を望み、或は得度を求む。王臣本属を経ず私に自ら駟使し、国郡に囑請して遂にその志をなす。ここによりて天下に流宕して郷里に帰らず。もしこの輩ありて、すなわち私に容止せば状を揆りて罪を科すること、並に律令の如くせよ。

B 勅して、中納言正三位藤原朝臣小黒麻呂……らを山背国に遣して、乙訓郡〔②〕村の地を相しめたまふ。都を遷さんがためなり。(中略)詔すらく、……此の国山河襟帯して、自然に城をなす。この形勢によりて新号を制すべし。よろしく山背国を改めて山城国となすべし。(中略)号してa平安京という。また近江国滋賀郡の古津は先帝の旧都なり。今輩下(京のこと)に接す。昔の号を追いて大津京とすべし。

C 太政官符す。応に〔③〕を差すべき事。……今諸国の〔④〕、辺要の地を除くの外、皆停廢に従へ。その兵庫・鈴蔵及び国府等の類は、宣しく〔③〕を差して以て守衛にあつべし。宣しく〔⑤〕の子弟を簡び差して、番を作りて守らしむべし。

D 勅ありて、参議右衛士督従四位藤原朝臣緒嗣と参議左大弁正四位下菅原朝臣真道とをして天下の徳政を相論せしむ。時に緒嗣、議して云く、「方今、天下の苦しむ所はb軍事と造作となり。此の両事を停むれば百姓安んぜむ」と。真道異議を確執してあへてきかず。c帝、緒嗣の議を善しとし、即ち停廢に従う。

E 右、d臣某、……臣ら伏して旧記を検するに、度々の使ら、或いは海を渡りて命に堪へざる者あり、或いは賊に遭ひて遂に身を亡ぼす者あるも、唯未だ唐に至りて難阻飢寒の悲しみありしことを見ず。……臣ら伏して願はくは、中権録記の状を以て、遍く公卿・博士に下し、詳らかにその可否を定められむことを。

2

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____
- (6) _____
- (b) _____
- (c) _____
- (7) _____
- (8) _____
- (9) _____
- (10) _____

- (1) 〔①〕にあてはまる語句を漢字2字で答えよ。
- (2) Aの史料の内容に**適当でないもの**を、次のア～エから一つ選べ。
 - ア 出家して僧侶になる。 イ 莊園に流入して奴婢になる。
 - ウ 諸国に逃亡する。 エ 王臣家の下級役人になる。
- (3) 〔②〕にあてはまる語句は何か。次のア～エから一つ選べ。
 - ア 平城 イ 難波 ウ 恭仁 エ 長岡
- (4) 下線部aの説明として**適当でないもの**を、次のア～エから一つ選べ。
 - ア 南北に朱雀大路が通っている。 イ 東寺と西寺が建立された。
 - ウ 十条十坊によって構成されている。 エ 京の南端に羅城門が置かれた。
- (5) 〔③〕～〔⑤〕にあてはまる語句を、それぞれ正確な漢字で記せ。
- (6) Dの下線部bとは何か、下線部cの帝とは誰か。それぞれ簡潔に記せ。
- (7) 下線部bに関連して、帝が関わったこととして正しいものを、次のア～エから一つ選べ。
 - ア 鎮守府多賀城の設置 イ 胆沢城の設置 ウ 出羽国の設置
 - エ 磐舟柵の設置
- (8) 下線部cの帝の事績として**適当でないもの**を、次のア～エから一つ選べ。
 - ア 勘解由使を設置 イ 雑徭の半減 ウ 班田の12年1班
 - エ 蓄銭叙位令
- (9) 下線部dの臣某にあたる氏名を記せ。
- (10) 下線部eにあてはまらない人物は誰か。次のア～エの中から一つ選べ。
 - ア 最澄 イ 玄昉 ウ 円仁 エ 道鏡

演 習 問 題

1 平城京遷都 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

(①)天皇は710年に、都を(②)から平城京に移した。唐の都長安にならった平城京は、整然と区画された都市であった。都の北部中央には大内裏があり、内裏や諸官庁などがあった。その後、(③)天皇のとき都を一時他所に移すことはあったが、桓武天皇が784年に(④)に、次いで、それから10年後に平安京に遷都するまで、この地が帝都であった。この間、政府は唐にならって、708年の(⑤)をはじめとして銭貨をしばしば铸造した。711年に政府は、一定額の銭を蓄えた者にはその額に応じて位を昇進させることを定めた。なお、(⑤)をふくめ奈良～平安中期にかけての約250年間に12種の銅銭がつけられたので、これを(⑥)とよんでいる。

- (1) 空欄(①)～(⑥)に適当な語句を入れよ。
 (2) 下線部を定めたのはいかなる事由によるものか。次のア～エの中から一つ選べ。
 ア 銭貨が不足していたため イ 銭貨の流通を促すため
 ウ 銭貨が氾濫していたため エ 銭貨の価値を安定させるため

1

(1)	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
(2)		

2 奈良時代の政争 次の文章を読んで、空欄(①)～(⑦)に最も適する語を下の語群から記号で選べ。

藤原不比等の死後、権力を掌握したのが長屋王である。長屋王は(①)天皇の孫にあたり、父は高市皇子である。こうした血筋を背景に皇親勢力の代表として政権を掌握した。しかし、729年に藤原四子の策謀によって自殺させられた。

四子のあと政権を握ったのが橘諸兄である。諸兄は唐からもどってきた(②)や玄昉を登用して政治をおこなった。しかし、式家の出身で当時、大宰府に左遷されていた(③)は、こうした政治状況に反発して九州で反乱をおこした。

聖武天皇のあと、娘の孝謙天皇が即位すると光明皇太后の信任を受けた(④)が台頭した。しかし、孝謙上皇の保護を受けた道鏡が勢いをもってくと道鏡を除こうとして兵をあげ失敗した。孝謙上皇は重祚して(⑤)天皇となり、道鏡も太政大臣・法王として権力を握った。さらに、道鏡は皇位をのぞんだが和氣清麻呂らによって阻止された。770年、(⑤)天皇が亡くなると、(⑥)らは道鏡を下野国の薬師寺別当に追放し、(⑦)天皇を擁立して政治の刷新をはかった。

【語群】

- ア 元正 イ 吉備真備 ウ 藤原仲麻呂 エ 文武 オ 天武
 カ 藤原広嗣 キ 天智 ク 藤原宇合 ケ 桓武 コ 藤原百川
 サ 称徳 シ 阿倍仲麻呂 ス 藤原冬嗣 セ 光仁 ソ 藤原清河

2

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		/	

3 天平文化 天平文化について、次の設問の答えをそれぞれア～エの中から一つ選べ。

- (1) 法相宗の僧で、布教と社会事業につくしたのは誰か。
 ア 鑑真 イ 行基 ウ 玄昉 エ 道鏡
 (2) 私邸に芸亭という図書館をひらいた文人は誰か。
 ア 山上憶良 イ 淡海三船 ウ 大伴家持 エ 石上宅嗣

3

(1)	
(2)	

4 律令制の再建 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

4

桓武天皇は動揺した政治を立て直すために、都を平安京に遷都した。そして、天皇は農民の負担となっていた軍団の制を東北・九州などの辺境を除いて廃止し、郡司などの豪族の子弟を(①)に採用して、兵力の精鋭化をはかるとともに、班田収授の励行に努め、新たに(②)を置いてゆるみがちな国司の行政を監督させた。また、(③)を征夷大將軍に任じて蝦夷を討ち、鎮守府を多賀城から胆沢城に進め、東北の開拓に尽くした。嵯峨天皇の時には、(④)に際し蔵人所が置かれ、(⑤)が蔵人頭に任ぜられた。同じころ、京都の治安を維持するために(⑥)が置かれた。これらを(⑦)官という。こうして、このような新しい官職が次々に置かれることによって、朝廷の政務が能率的に運営されるようになった。

それと共に、これまでの律令の規定を修正・補足して出された(⑧)や施行上の細則を定めた(⑨)が整備され、三代にわたりそれらが制定された。まちまちだった令の解釈を統一するため『(⑩)』も編集された。こうして動揺する律令制度の補強と再建の努力が続けられたのである。

(1) 文章中の(①)～(⑥)に最も適する語句を次の語群の中から選べ。

- ア 勘解由使 イ 応天門の変 ウ 難波 エ 検非違使
 オ 平城太上天皇の変 カ 防人 キ 長岡 ク 弾正台
 ケ 健児 コ 藤原冬嗣 サ 菅原道真 シ 藤原仲麻呂
 ス 坂上田村麻呂 セ 追捕使 ソ 阿倍比羅夫

(2) 文章中の(⑦)～(⑩)にあてはまる語句を考えて、漢字で記入せよ。

(1)	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
(2)	⑦	
	⑧	
	⑨	
	⑩	

5 弘仁・貞観文化 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

5

律令政治の再建をめざした桓武天皇は、都を旧勢力の強い奈良から山背国に移すことによって政治再建の実をあげようとした。延暦13年平安京に遷都し、この新しい都で政治改革が行われることになった。この政治の刷新は文化面にも新風を吹きこみ、多様な文化が展開されることになった。とくに、貴族の間では、中国文学や歴史を学ぶことが盛んに行われ、(①)・(②)・(③)などの勅撰の漢詩文集や個人の漢詩文集である(④)があいついで編集された。

また、大学での学問も盛んで、有力な諸氏は大学別曹を設けて、一族の子弟の勉学に供した。(⑤)広世は(⑥)を設置し、(⑦)冬嗣は一族のために(⑧)を設けた。(⑨)嘉智子は(⑩)を設け、(⑪)行平は(⑫)を設置した。このような貴族を中心とした学問に対して、空海は(⑬)を開いて庶民教育をめざした。

(1) 空欄(①)～(④)にあてはまる語句を、次の中から記号で選べ。

- a 風信帖 b 文華秀麗集 c 久隔帖 d 懐風藻
 e 経国集 f 性霊集 g 和漢朗詠集 h 凌雲集

(2) 空欄(⑤)～(⑬)に入る語を下の語群から記号で選べ。

- ア 施薬院 イ 知恩院 ウ 弘文院 エ 綜芸種智院
 オ 智積院 カ 勸学院 キ 戒壇院 ク 学館院
 ケ 奨学院 コ 大仙院 サ 在原 シ 蘇我
 ス 大伴 セ 和氣 ソ 小野 タ 橘
 チ 紀 ツ 藤原 テ 菅原 ト 阿倍

(1)	①		②	
	③		④	
(2)	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬			